

ては、ぜひとも他の首長さんにも協力をお願いして、絶対やっていかななくちゃならない問題だというふうに認識しております。そしてまた、今後もおっしゃられるように、他の国境離島の首長さんにもこの問題をお願いをいたしまして、谷川先生を初め、各国会の先生たちのほうに通してお願いをしてまいりたいというふうに考えております。どうかまた、議員皆様もこの件に関して御協力をお願いしたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 19番、作元義文君。

○議員（19番 作元 義文君） ここで結論が出るような話じゃありませんから、そういったところで、このジェットフォイルだけは将来の島の発展のためにぜひやっていかなければならない問題です。これはきのう谷川先生とも話をしましたので、非常に難しいとかいう話をされておりましたけども、自信がありそうなことも言われました。ただ、どれだけみんなの熱意が伝わるかです。

隠岐には細田先生もおられますし、佐渡も青木先生もおられます。いっぱいおられますから、ぜひそういったところで取り組んでください。そして、早いうちにこの建造ができますように、そして観光名所、観光スポットが十分意気上がってきますように、ぜひ市としても努力をしていただきたいと思います。

以上で、僕の質問は終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、作元義文君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩します。再開は11時からとします。

午前10時43分休憩

午前10時59分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 皆さん、改めましておはようございます。清風会、1番議員の春田新一でございます。

3月28日、初登庁されましてから3カ月になろうとしております新市長、本当に当選おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。また、比田勝市長におかれましては、選挙公約で5つの拡大戦略を掲げられて選挙戦を戦われ勝利をされました。その一つが交流人口の拡大、産業所得の拡大、それから人づくり・教育の拡大、健康福祉の拡大、快適生活環境の拡大ということで、5つの戦略を公約に掲げられておられます。

交流人口の拡大ということで、先ほどから質問があつております観光基盤、また施設の充実、

それと見せる観光と豊かな食材を食べていただく、掛け算を合わせた観光づくりということに力を入れますということでございます。

その一つで私も質問を上げておりますが、生活環境の拡大ということでありますが、各地域の幹線道路の整備・拡充、それと北部の件であります、JR九州高速船への混乗についても、早期実現をすると、これに一生懸命取り組んでいくということも掲げてあります。このことは北部住民の悲願でありますので、一日も早く実現ができるように私のほうも期待をして、市長と一緒にやっていきたいというふうに思っております。このことは後ほど質問があるかというふうに思っております。

それでは、私の2点通告をしております通告どおり、質問をさせていただきます。

まず、1点目でございますが、市内の観光ルート整備計画について。特に私が上げているのは、北部地域の観光ルート整備と地域の空洞化をどのように捉えて、今後どのように計画を立てて整備をされるのかということが私の1点目の質問でございます。

あと2点目で、きょうも先ほど作元議員もおっしゃっていましたが、九州は大雨ということの情報で、これも何か私が避難所の質問をするときには、大雨あるいは災害に遭うんですが、災害時の避難所の指定と整備についてということで、深くは入りませんが、そこら辺を質問をさせていただきたいというふうに思います。

まず、観光ルートであります、比田勝港ターミナル、韓国観光客21万人を超えているだろうという推測がなされ、先日もそのような質問がされておりました。一緒に質問になりますので、答弁はつまんで答弁でよろしいかと思います。

そのことで、先日も質問があつておりましたこの21万人、また市長の今後の2020年までには30万人を超える見込みでやっていきたいというような答弁もあつておりました。このことで、本当に北部の比田勝港の国際ターミナルが間に合うのかなというふうには考えられますが、やはり計画をされたときには、その計画でおさまるといふことで計画をされたんだろうというふうに思います。

きのうの質問にもありましたように、そのターミナルの、どうしても30万人を超えれば入ることはできない、今30万人のうちに比田勝港で14万、それが30万になれば18万人になるわけですから、それを掛けていくとどうしても無理なところが出てきます。そうすれば、第二ターミナルというのも考えなければいけないのかなというふうに思いますが、そこら辺も視野に入れられた答弁をお願いいたします。

それと、北部のほうには、ターミナルから三宇田浜、殿崎、権現山といったような観光ルートがあります。これも市長の掲げておられます拡大人口の中に入ってくると思います。ルートはありますが、やはりその中のハード面、行政がするところは行政がする整備をしていただければ

ば、観光客も足を踏み入れることはできないというところは多々あろうかというふうに思います。そこら辺を市長は整備をしていくんだという力強い答弁をいただきましたが、やはりそこをきちんとしていかなければ、観光客も足を運んでは来られないんじゃないかな。

また、先ほどから出てます国境離島新法の制定に伴って、航空運賃の低廉化ということになります。そうなれば、国内外からの客がいっぱい押し寄せるようになってほしい、またはなるように計画を立てなければいけないというふうに思っております。そういうことになれば、どうしても観光ルートを整備をするのが早急な計画じゃないかなというふうに思いますので、いち早くこれに取り組んでいただきたいというふうに思います。

比田勝港から三宇田、殿崎の観光ルートにつきましては、観光リゾート、まちづくりリゾートというような協議会がつくられて、その中でリゾート計画というのをやられたという形跡が、平成25年度にあつてるといふふうに思っております。このメンバーといたしましては、商工会あるいは観光物産協会あるいはその会員の皆さん方が出席をされて、ワークショップ、いろんなことをされてやっておられます。

その一つででき上がったのが、私が質問をしました比田勝港の埋立地の舗装であります。これが一つの上対馬町の一番中央部でありますので、いろいろなイベントをするために整備をしてほしいということで、これが1点。今、中途であります、完成しつつあります。

この中でも商工青年部の話であります、イベントする広場であればステージが欲しいなということでもあります。またはそのステージをどういうふうに組み立てるかというのは、まだ今からということ、その部分は用地はまだ未舗装であります。そこに移動式をするのか、固定式をするのか、そこら辺も今から計画の中に入れて、観光ルートの一環としてやってほしいなというふうに思います。

それから、ターミナルの混在状況がはげるには、やはり長くお客様をバスでルートに案内をする、これが一番じゃないかなというふうに思います。この長いルートをつくって、時間的に遊ぶところがあれば、中は混在はしないんじゃないかなというふうにも今、私は思っておるところでございます。

そうすれば、どうしても北部のほうで、先ほど言いました三宇田、殿崎、権現山を通過して、今度は豊の砲台跡あるいは鱈浦の韓国展望所、このルートになってくるんじゃないかなというふうに思いますが、この一般県道の大浦比田勝線の中の豊工区の道路の問題、これも私も一般質問をさせていただきましたが、非常に難しいところでありまして、今でも大型バスが数十台、1日に通っているところあります。離合ができないということで、地域の方も大変迷惑をされているようなところもあります。これも早急にやっていただくように、これは道路の設計予算はつきましたというような話は聞いております。

そういうことで、このルートをつくっていったら、今度はそれから大浦を抜けて、大浦には大型スーパーがありますので、そこで買い物をするなり、そこで時間を潰すなりはされますが、そのルートではどうしても時間的に今のところ2時間ぐらいで収まるようなルートであります。

これをもう少し延ばして、上県町に目を向けて、今、上県町は佐須奈の大地バイパスも30年には完成をいたします。そこから抜けて200メートルすれば、右に曲がれば井口浜海水浴場という看板が上がっております。その海水浴場を通過して、またここもきれいな海水浴場でありますので、そこを通過して千俵山、ここが私は1週間ぐらい前に登ってみました。大きな大型風車が1台建設をされております。その眺めが、東西南北を眺められるすばらしい景色であります。そこに散策路あるいは展望所をつくれれば、そこでは大分時間がお客様にも見ていただけるようなところができるんじゃないかというふうに思います。

そこで、佐護地区では野焼きという伝統継承のものが今ずっと続けておられます。こういうことも視野に入れながら、観光地としてその辺も活用されるようにしていけばいいんじゃないかなというふうに思います。

また、その下に行きますと、対州馬の放牧場が整備をされております。今何頭ですかね、6頭ぐらいはそこに飼育をされております。すばらしい眺めのところで本当にいいところだと思っております。この対州馬も海岸から道路まで上がってくるような道順をつくっておられます。そこで観光客が車をとめて、馬にさわる、対州馬にさわる、こういうことが観光ルートであるんじゃないかなど。そしてまた、その対州馬保存についても、そういうことで保存をしていかれるんじゃないかというふうに思います。

それから、そこを通れば、19日に行われましたあじさい祭り、そのロードを通りまして、今度は湊浜シーランドというところがあります。ここも海水浴場とイベント広場、大きなグラウンドとステージが建設をされております。その辺でも十分時間を癒やされる所でもあります。そこで休憩をしながら時間をとって、あとはヤマネコセンターあるいは棹崎公園、そこら辺も道路自体は整備がされておりますが、そのルートの計画を盛り込んで、あと戻ってきますとバードウォッチング公園というのが佐護の中央にあります。ここでも野鳥とか、そういうものに興味のある方はそこで時間が潰せるでしょう。そういうようなルートを考えて計画をしなければ、単品単品で物を考えておれば、観光客も飽きてきます。ということは、増にはつながらないというふうに私は思っております。

それから、市長が所信表明で言われました御岳、白嶽のトレッキングコースというのが、私はその所信表明を聞いて今回はこの質問を上げたわけですが、御岳につきましても今は駐車場が狭い、あの駐車場を大型バス4台か5台とめられる駐車場に拡張ができて、ある程度コースをつくられて整備をする。きのう、市長の質問の中にありましたトレッキングコースというのは、余り

多額の予算はかかりませんというようなことですから、その中でも国定公園あるいは森林等がありますので、その中をくぐっていける散策路またはトレッキングコースというのをつくり上げられれば、そう大きな予算はかからないかなというふうに思っております。

そういうことで、そこから今度は戻ってきますと、先ほど作元議員の質問にありました烏帽子岳、三根を通過して烏帽子岳、三根にも木坂、青海といったような観光ルートにできる見せられるところがございます。そういうところのきちんとした観光客が見れる体制づくり、またそれを観光地として設定できる基本計画を立てていただきたいというふうに思います。

それから、白嶽が出ましたけど、私、白嶽を今13年続けて登っております。何で登るのというような話があるんですが、正月の1月の2日に必ず登っております。心を清めるために登っておるわけですが、なかなかこういうざっくばらんな人間ですから、心は清まりませんが登り続けております。そういうところ、山に登るには駐車場、麓に駐車ができて、それからトレッキングコース登るんだというような整備をしていただきたいというふうに思います。先ほど作元議員のほうからも質問の中にありましたので、ダブるところがあるかと思いますが、その点はその答弁をよろしく願いをいたします。

それから、2点目ですが、先ほども言いましたように災害時の避難所の指定と整備について。これも私が前市長のときにハザードマップをつくるということで、市長は27年度にはつくり上げますということで答弁はいただきましたが、まだ完成していないということでもあります。

それで、この避難所指定というのが、地区181区ある中の住民センターあるいは漁村センター、集会施設、公民館等々になるんじゃないかなというふうに思います。あと、校区にあります小中学校が避難所に指定をされるというふうに思っております。

ハザードマップがまだ完成はしておりませんが、ほとんど80%は今できておりますということですので、これがぜひ地域の住民の皆さんに周知をされて、そしていい避難所が一日も早い避難所でありますように願うものであります。

また、その中で一つ問題点があります。建物が非常に古いわけです。避難所としてどうかというような建物も数あると思います。厳原町で18カ所、これが建築年数が一番古いのが45年。美津島町が27カ所、これも古いのは45年。豊玉町が21カ所、ここは38年。峰町が13カ所、これも36年。上県町が29カ所で、年数が42年。上対馬町が20カ所で44年ということで、非常に古い建物もある。新しい建物もあります。これも県のほうでも言われております耐震化、学校は対馬市立小中学校は100%耐震ができていうふうにお聞きはしております。

この避難所については、公民館あたりについては耐震がまだ済んでない。県としても、市長に積極的に取り組んでもらうように要請をするというような、一県議員の一般質問で答弁がなされております。

そういうことで、前回の財部市長の折には、山が固いからここは地震はなかなか来ませんというような答弁でありました。そのとおりだろうというふうに思いますが、やはりいつやってくるかわからない、九州を、特に今、襲っておるわけであります。先ほど作元議員も冒頭に言われましたように、熊本地震、まだ余震が続いております。非常にいつ起きるかわからない地震、災害に備えをするのが、行政の私は役割だというふうに思っております。そこら辺をもう少し気を引き締めてやって、新しい体制でやっていただきたいなというふうに思います。

その避難所の中で、非常に古いのがありますので、避難所というとはやはり高齢者が一番に避難をされるわけであります。調べていただければわかると思いますが、各地域で必ず3世帯か4世帯は、警報が出たら避難所に行くというような例も挙がっております。そういう中で一番不自由されるのがトイレなんです。トイレを今の洋式から和式に、全部ではないでもいいでしょうから、2穴あるところは1穴を和式というような形に変えていただいて、これだけの数があるわけですから、すぐにはできませんが、優先順位を決められて、このトイレ改修に臨んでいただきたいというふうに思います。

特に、上対馬町の琴の住民センター、これも非常に雨漏りがして避難所にどうかなど。それと階段の多い住民センターであります。これも今、南陽中学校は東部中学校に統合されておりました、廃校しておりますので空き校になっております。そこを避難所として指定はできないかというようなことも伺っておりますが、なかなかあの付近は低いところでありまして、川も小さく、すぐ増水、冠水をするところでありますので、なかなか避難所にどうかなどというふうには思いますが、そういうことも今から考えられて、公民館、住民センターが使いづらい、または遠くにあるところをいろいろ調べられて、避難所の指定をもう少し考えていただきたいというふうに思います。そのトイレの件についてお伺いをいたします。

以上、よろしく願いをいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 春田議員の質問にお答えいたします。

上対馬では、三宇田へのホテル誘致が決まり、観光客がますます増えてくるものと認識しております。民間におきましては、このチャンスを逃さないよう、積極的に取り組んでおられ、新たな事業展開も見受けられるようでございますが、働き手がないといったお話も伺っているところでございます。

現在、春田議員も先ほど質問の中でおっしゃられた北部地区における観光整備計画といたしまして、平成25年度に策定しました観光リゾートイメージ図がございます。この計画は、三宇田へのホテル誘致を促進するため、三宇田からターミナル周辺を観光地として整備するにはどうするか、ワークショップを開催してイメージしたものでございます。その計画に則って、昨年、殿

崎から権現山にトレッキングコースを整備いたしました。これは地域のまちおこし団体である「北の玄関上対馬推進会」が中心となり実施されたものであり、おもしろいコースに仕上がったと伺っております。

また、韓国展望所へのアクセス道路改良など、三宇田周辺以外でもインフラ整備に努めております。今後は、対馬全体の計画として、先ほど北部地区の観光ルートとして数々のルートが出ましたけども、この観光ルートを観光振興推進計画やキャンプ場の整備計画の策定として進めております。そしてまた、その計画にも観光リゾートイメージ図を反映させております。韓国人観光客の動向など、韓国を取り巻く環境が変化しており、後手に回らないよう、情報収集に努め、観光産業が対馬の基幹産業となれるよう、新たな観光資源の創出と整備拡充に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、避難所の件でございますけども、現在、本市では市内289カ所の施設を避難所として指定しており、大きく分類いたしますと、市役所の庁舎、小中学校等の公共施設及び地区の集会所等になります。議員御指摘のとおり、避難所の多くは建物自体の老朽化が進み、またトイレ等の設備も旧式で、時代のニーズに対応できないものとなっております。その抜本的な改修には相当な費用を要するものとなるため、財源的な面からは利用頻度の高い優先的な施設から順次改修を計画していきたいというふうに考えております。

また、介護の必要な高齢者や障害者の皆様にあつては、一般の避難所では生活に支障を来すため、各町単位に1カ所ずつ指定している福祉避難所を優先的に御利用いただくこととなります。

また、本市では平成27年3月に対馬市災害時備蓄計画を策定し、平成27年度から5カ年間で、人口の5%に当たる1,600人分の飲料水、食料等の生活必需品を備蓄することとしており、和式トイレを工事不要で洋式トイレとして使用できる据置型便座も20台は備蓄しております。

しかし、避難所の数からすると不足していることは歴然でございます。年次的に備蓄台数を増やして、災害時のトイレ事情の改善にも対応してまいりたいと考えております。早々、各避難施設のトイレの状況など、現地調査を行った上でその整備方法を含め検討してまいります。

次に、琴の住民センターの件でございますけども、琴住民センターと旧南陽中学校舎について、避難所としての利便等を考える上で再度地区とも協議を行い、いずれの施設が改修が最善であるのか、調査検討をしてまいりたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） どうも御答弁ありがとうございました。それでは、整理をしたいと思います。

先ほど言われました観光リゾートづくり、ちょっと私、間違いがありましたので、訂正をいた

します。トイレの様式を逆に言っておりましたので、申し訳ありません。

それと、このルートの中の関連ですが、あじさい祭りが19日にありました。しかし、このアジサイも鹿、イノシシの被害に遭うて、もう半分ぐらいしかとどまってないというような話を聞いております。その中でも、この実行委員会で網を張られて、今後は何とか持ち直しができるんじゃないかというような話も聞いております。そこら辺も見せるものでありますから、いち早く、予算がないからここまでというふうにしとけば、どうしても次から次に食べられますので、また、この辺をもう少し頑張ってもらいたいというふうに思います。

市長もおっしゃいました、いろんな予算が必要であります。本当に対馬の中で予算をどれだけ分配すればいいのかということで、頭も痛いと思いますが、観光客を受け入れる、交流人口の拡大ということでありますので、そこはそこできちんとしたものをある程度つくり上げていかなければ、私は受け入れ体制はできないというふうに思います。

それから、受け入れができれば、あとはソフト面で個人の企業さんが一生懸命いろんなことをやられるでしょうから、行政が係り得るところは係って、きちんと整備をしていくというのが一番妥当じゃないかなというふうに思いますので、そこら辺も力を入れてやっていただきたい。

それと、先ほど市長が言われましたリゾート計画づくりというところで、私も2回ほど出席をさせてもらって、ワークショップにかたって発表もいたしました。韓国からの人も出席をされておまして、韓国の方の意見が少しありますので紹介したいと思います。先ほど言いましたように、「本格的なトレッキングであれば、有明、白嶽、御岳などを整備していただければいいんじゃないか」ということ。それと、「対馬では森林が特徴なので、そこをやはり最大限に生かして観光地としてつくっていただきたい」ということです。それとキャンプは三宇田にありますが、「別の場所にも専門のキャンプ場として考えられてはどうか」ということであります。

今、上対馬では三宇田で市の運営でやっておられます。しかし、今度は個人のほうでやるというような計画も聞いております。そういうことで、行政が係り得るところは係っていただいて、また市民の皆さんがやられるところはやっていくように、どうしても行政の手助けというのをいただきたい。そして、お互いに、市長が述べてありますように、市民、議会、行政がスクラムを組んでやるんだということですから、そこら辺をもう少し洗い直して、力を入れて、そこをクリアできれば、私は大きな無駄な予算を使う必要はないというふうに思っております。無駄ということはありませんけど、そういうような考えを今、頭の中で浮かべております。

本当に市長さんも今3カ月になろうとしておりますので、そこら辺は今からかなというふうに思います。これを強力的かつ実効的に、その誠実さを市民の皆さんは気に入っているわけですから、そこを出していただきたい、思い切り出してやっていただきたいというふうに思っております。

そういうことで、もう一つが温泉になりますが、特に日本らしい温泉は好きだということです。浴衣があって、げたを履いて、畳がある。特に、畳は重要であるというような意見も出されております。私はその畳で思い出したんですが、観光地で温泉に行きましたら、洗い場が畳になっております。滑らなくて、また畳を歩くだけで足の裏がきれいになるというような効果的なものもありました。本当にいろいろなあれをされれば、有効に使われるなというふうに思ったところがございます。

それから、先ほどありました権現山トレッキングコースが県の事業でやられたというふうに思っております。きれいなトレッキングコースができております。しかし、このトレッキングコースも私は一週間ぐらい前に歩いてみました。一番いいのは、権現山までバスで行って、権現山の駐車場にはきれいなトイレがあります。そこで観光バスは駐車場は4台も5台もとめるスペースはありますが、道路が狭いんです、1.3キロ。この1.3キロを拡張ができれば、またそこでもそのトレッキングコースも生きてくるんじゃないかなというふうに思います。

殿崎から登る口と古里側から登る口というふうにあって、権現山に通じてあるわけですが、権現山から下って行ったり、または殿崎方面に下がったり、古里に下がったりというコースも私はなかなかいいなというふうに思っております。そこら辺をもう少し精査されながらやって、観光客に喜ばれるトレッキングコース、またキタタキロードとも言われております。看板はキタタキロードということで上がっております。きれいな看板も上がっております。本当にいい事業がなされているなというふうに思いました。

そこで、先ほど作元議員の質問にもありましたが、このできたところを有効に使っていただける整備、今度はこの整備が係ってくるわけです。森林の中につくるわけですから、草あるいは木切れ、木が覆いかぶるわけですから、その整備も、先ほど作元議員の質問の中にありました、ボランティアでやるのが一番ベターだと思いますが、なかなかボランティアばかりに頼っては前に進まないという状況もあります。そういうことも今から観光地としてルートをつくられるなら、いろいろ考えてやっていかなければいけないというふうに思います。

それと、もう一つが、先ほど言いました千俵蒔山、これには市長が触れられませんでした。県営農道で道路がつくられております。この道路が千俵蒔の中腹まで行くのに、井口浜から登って3.2キロあります。ここも観光バスはちょっと難しいかなというふうに思います。乗用車、レンタカーはどんどん行けますけど、そこら辺の整備をやっていかないと、観光客はあるだけでは見ていただけないというような今状況であります。

そこら辺を整備することによって、おのずと観光客が増える、また来たい、また来るといったような状況になるというふうに思いますので、それを今度は食材に生かす掛け算式というものも市長の考え方でありますから、そこら辺もきちんとしたものをつくっていただければ、私はおのず

とこの対馬の食材も生きてくる、またはお客様も来てくださるというような掛け算式になってくるといふふうに思います。

だから、やはり大きな多額な予算は必要になるわけですが、やるとすれば、そういうことに力を入れていかなければ、いよいよ今では比田勝港の待合所の中はわんさわんさでいっぱいです。足元は全然見えないぐらいでございます。それで、またこれを30万人に増やすということになれば、とてもじゃないが、今から先に観光客がもう二度と行かないよというようなことになり得るんじゃないかなといふふうに思いますので、そこら辺を観光客を呼び寄せるならば、使っていたきたいなといふふうに思います。

あと、千俵蒔山の件について、どういう考えを持っておられるか、1点お尋ねを先にいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 千俵蒔山の道路の関係、そしてまた展望所の件について、どのような考えがあるかということだと思ふんですけども、私も千俵蒔山のほうへは数度登らせていただきまして、ここからの眺望は大変すばらしいものといふふうに感じております。ただし、道路が狭いということは認識しておりますが、ここら辺のまだ詳しい事情は、私も情報を知り得ておりませんので、今後また用地買収等が可能なものか、そこら辺も含めて今後改良が可能なものかどうかを検討してまいりたいといふふうに思います。

○議長（堀江 政武君） 1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） やはり先ほど言いましたように、観光ルート整備に力を入れられるのであれば、見せる見せ場というのに、基本的に考えを置いていただいてやっていただきたいといふふうに思います。

千俵蒔山は、私は対州馬を保存するところでもすばらしいところだと思っております。この対州馬保存についても、ちょっとずれますけど、今からいろんな飼育に増頭すれば予算が要ります。こういうことで、野生のものですから放牧が一番だといふふうに思いますので、そこら辺も馬の気持ちになって我々も考えていかなければいけないのかなといふふうに思っております。そういうことで、予算が削減されるならば、観光客に対州馬を見てもらう、また馬も広大なところで遊べる、両方いい方向になってくるわけですから、そういうこともひとつ視野に入れられて検討されたらどうかといふふうに思います。

避難所の件についてであります。県のほうも各市町の避難所は耐震化率は低いといふふうに言われております。危機監のほうから、市や町にも積極的に耐震をされるように促していきませうということですが、これも多額な予算が要るわけですから、すぐ、あしたあさってできる問題ではないかといふふうに思います。それを耐用年数が来てる古いところを優先的に扱ったり、また

高齢者に優しいバリアフリー等も考えられて、改修ができればいいなというふうに思っております。

トイレについては、今のトイレからかえていただいて、一番避難をされた経緯があるところを中心にかえていただければいいのかな。避難所が低くて民家が高いんですよということになれば、その問題はないのかな。地滑りの問題はありますけど、冠水はないのかなというふうに思いますので、それじゃなくして、家が低い避難所が高くて、そこに行ったら一番安全よというところがあるというふうに思います。そこに避難をされた方は今現在でもおられると思いますので、そこら辺を地域の区長さんあるいは民生委員さんあたりと話されてやっていかればいいのかというふうに思います。

また、ハザードマップの中に地域の意見を取り入れてつくっていかれるんでしょうから、そこら辺もきちんとしたものになっていくのかなというふうに思いますが、そのトイレの件については、選挙の投票所とかまた総会とか、いろんな地域の皆さんが使うところですから、非常に古いところはトイレをかえていただくというのが先決かなというふうに思っております。

それから、そのハザードマップでありますけど、幹線道路から今度は幹、枝に分かれた道路も整備をしなければいけないので、ハザードマップがおくれるというような理由であります。そうだろうというふうに思います。

先ほど申しました琴のところも、どうしても川が小さくて、低いわけですから、そこを避難所にしてどうなるのというような話になります。そういうこともよくよく調べられて、避難所の指定というのもやっていかなければいけないのかなというふうに私は思っておりますので、そこら辺も今後調査をされていければというふうに思います。

例えば、その地域で避難所がどうしても雨漏りがして、どうしても使い道が悪いなということで、地域からあそこよりここがいいよということがあって、たまたま平衡した土地がある、そういうところに避難所をかえられるかどうか、まず。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 恐らく春田議員がイメージされてあるのが、琴地区ではないかなというふうに私自身、今、思っておりますけども、議員おっしゃられるように、あの地域は一部川が狭い箇所がありまして、どうしてもそこがすぐに増水するというので、対岸のほうに避難所を指定した場合は、避難がしにくくて、逆に孤立する可能性もあるなというようなことで、今後また地区のほうとは協議を詰めていきたいとは考えておりますけども、どうしても、ただ、川よりも向こうの方の避難する場所もまた必要だというようなことも考えておりまして、そこら辺をあわせて、再度どのような方法が一番ベストな避難所であるかということを検討してまいりたいというふうに思っております。

○議長（堀江 政武君） 1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 残り5分となりました。そうだろうと、今の答弁のとおりだろうというふうに思います。やはり避難所に行くのが端と端になって、避難所に渡って、避難所に行けないというのがあります。それは結局2つになるわけですよね、そういうところは。そういう地区は2つつくらなければいけないというふうに本当はなります。しかし、それが多額な予算あるいは県のほうも指定をされるのかどうか、それは市の首長が決定することだろうというふうに思いますが、大体難しいところがあります。しかし、孤立ができないように2つすれば、もう十分避難所としては効果がありますということになれば、それも今回、今後見直していかなければいけないのかな。それは、やっぱり地域の意見を聞きながらやっていくのが一番ベターかなというふうに思います。

それで、学校関係は耐震化が99%、県のほうでも県立も合わせて96.8%いってますということでございますので、学校も安全な避難所にはなりますが、学校もトイレが昔のままのトイレになっております。やはり避難所として指定をされるなら、トイレの改修も必要になってくるんじゃないかなというふうに思っております。

そういうことで、避難所避難所で、何か梅雨になって避難所の話をして、大変申しわけありませんでしたが、市長の答弁の中でよくわかりました。新しい体制の中で、一生懸命、対馬丸をかじ取りをしていただきますようお願いをいたしまして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、春田新一君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 昼食休憩とします。再開は午後1時からとします。

午前11時47分休憩

午後0時59分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 清風会の船越洋一でございます。通告に従いまして、大きくは2点について、市長にお伺いをいたします。

まず1点目は島内の道路網等について、2点目は南部地域の振興策について、以上2点について質問をしますので、市長の明快なる答弁を求めるものでございます。

まず、市道仁田志多留線の犬ヶ浦、御園、越高地区の防潮堤の設置ができないかでありますが、特に檜瀧、犬ヶ浦については、満潮時には北西の強い風が吹くと道路が冠水するほどでございます